

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)による被害状況



亶理町での震度は6弱。その後、最大12.3mの津波が襲来し、町の48%に相当する35km²が浸水しました。死者・行方不明者は305人、負傷者は44人に及び、5,500棟を超える建物が全半壊等の被害を受けました。

さらに、本町の基幹産業である農業は、瓦礫や塩害により、特に東北一の生産量を誇っていたイチゴは壊滅的となりました。また、水産業における漁港施設・市場・水産加工施設等が被災したほか、町の観光拠点である「わたり温泉鳥の海」も被災しました。

とりわけ、太平洋沿岸においては、集落の9割以上が罹災するなど、その被害額は壮絶なものとなりました。現在、1,035世帯(3,331人)が仮設住宅に居住し、町内外の民間住宅(みなし仮設住宅)で683世帯が慣れない不便な生活を送っています。

・住宅被害額	1,303億円
・公共施設被害額	186億9,112万8,000円
・産業被害額	1,862億6,258万1,000円
被害額合計	3,352億5,370万9,000円

- ・瓦礫量 126万7,000トン
(通常の年間ゴミ処理量 1万2,000トン=100年分以上)



ご支援をいただきありがとうございました

「被災された方々の力になりたい」と皆様の温かい想いが、大きな力を生み明日への一歩を踏み出す勇気と希望になりました。心から厚くお礼申し上げます。これからも亶理町を見守り続けていただければ幸いです。



■ 義援金 総額1億1,328万8,000円(723件)

6月と12月の2回に分けて、総額1億1,272万円を被災された方々へお届けしました。(12月末現在)

■ 寄附金 総額2億3,306万7,184円(491件)

災害復旧や、亶理の未来を担う子どもたちのための教育分野など町の復興のために使わせていただいております。

■ 支援物資 延べ3,251件

避難生活に必要な食料や生活用品などを被災された方々へお届けしました。

■ 災害ボランティア 延べ3万1,666人(12月末現在)

がれき撤去や家屋の泥出しなど早期に自宅へ戻れる環境を整えていただきました。また、さまざまな生活支援を通して、心を休ませる場を取り戻していただきました。

